

事業所名

放課後スペースいつざいや

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

1日

法人（事業所）理念	将来の「はたらく」に向けての障害児童への学習療育サポート						
支援方針	2005年創業期より、キャリアサポート企業として西宮市神呪町で経営し20期目。永年培った高度且つ高い専門性を活かし、障害者雇用枠ではない「はたらく」を実現する。						
営業時間	14時	0分から	20時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	将来の「はたらく」に向けて最重要の一つである「挨拶の徹底」と仲間を「誉める」「御礼を言う」ことを日常とする。更に日々「感謝する」ことを生活の重点とする。					
	運動・感覚	専門性の高い体幹トレーニングを取り入れた「遊戯」を地元公園等で実施する。指導者は、現役トップアスリート。					
	認知・行動	「認知」に関しては、特に「空間」、「触感」、「視覚」、「視界」の能力開発に効果の高い「清掃活動」を屋内外で実践する。「行動」における成長・進捗に向け、集団療育として活用する。					
	言語 コミュニケーション	アフォーメーション（発声による集団認識）で言語療育に力点を置く。「はたらく」にとって大切なことを言語化し、口頭伝達力を磨く。（音読等含む） 言語化例：泣くな、すねるな、空気読め					
	人間関係 社会性	経営主訴である「まちとはたらく」、標語である「向こう三軒両隣の復活」に基づいて、「地域（西宮市甲東地区）」の清掃活動を実施することを療育に取り入れ、「組織論」の理解を深める。					
家族支援	送迎時等の際に行う日々の報告。 個別支援計画とは別途に依頼があれば随時面談可能。			移行支援	「進路」について徹底的にサポートする。 児童に合った進学・進路計画を提案する。		
地域支援・地域連携	法人代表及び取締役（管理者）が事業所の至近距離に在住し、地域での重職も多数担っている。地域活動には通所児童も積極的に参加。			職員の質の向上	当社オリジナル人材教育メソッドのテキスト（逸・コンプリートプログラム）を活用しての人材育成。		
主な行事等	調理実習、地域史跡巡り、大型ショッピングモールでの買い物・飲食・遊戯体験。 外食マナー講座。散策（甲山森林公園・関西学院大学中央芝生・門戸厄神東光寺） 上記は長期休暇の際に実施。						